除雪機による事故多発!!

－ 作業の時以外は、必ずエンジンを止める －



人がいる時は使わない!

作業中は、
絶対にまわりに
人を近づけない。





雪かき棒を使って!

雪詰まりを取り除く時は、
エンジンを止めて
必ず雪かき棒を使う。





後方注意!(ひかれ、挟まれ)

後進する時は、
足もとや後方の
障害物に気をつける。



使用者の責任において、正しく、安全に作業しましょう。

除雪機
安全規格
SSS B201-2021
SSS B104-2021

このマークのついた製品は、除雪機安全協議会の自主規格に適合し、安全性の高い機構が装備された推奨除雪機です。

除雪機安全協議会
事務局:一般社団法人日本農業機械工業会内

除雪機を安全にお使い頂くために

歩行型除雪機の重大事故の主な事故要因

除雪中の事故が起こる原因を知り、正しく使用してください

除雪機の下敷きになった 40%
- 主な原因　安全機構の無効化など
- 防止策　デッドマンクラッチ機構の固定はしない

除雪機に巻き込まれた 26%
- 主な原因　近くに人がいるのに使用
- 防止策　周囲に人がいる時は使用しない

エンジンを掛けたままの除雪機内部に手を入れ負傷した 18%
- 主な原因　シュータ部に手を入れる
- 防止策　エンジンを停止してから雪かき棒を使用する

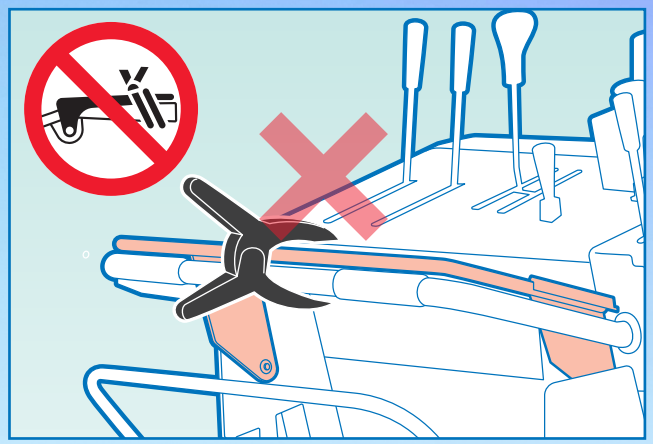
壁などに挟まれた 8%
- 主な原因　後方不注意
- 防止策　安全機構の適切な使用

その他 8%

出典：NITE NewsRelease（2024年11月26日）「事故事象別の事故発生件数」より。

安全機構の無効化は非常に危険!!

●**デッドマンクラッチ機構**
手を離すと自動的に除雪機が止まる、大切な安全機構です。器具で固定したり、ひもで縛ったりして無効化するのはやめましょう。
非常停止装置が効かなくなり、思わぬ重大な事故になります。



整備・点検が重要!!

定期点検を行い、安全装置やブレーキ、クラッチは正しく動作するようにメンテナンスを行ってください。

【注意事項】

●**雪かき棒の未装備**
雪かき棒を使用せず手で詰まった雪を取り除こうとして回転部に接触

●**純正品以外のボルトを使用**
オーガ部への負担による除雪機本体への損傷



⚠ 注意喚起事項

- 作業前には取扱説明書をよく読んで、正しい使い方を理解する。
- 屋根からの落雪には十分注意して作業する。
- 屋内や換気の悪い場所では一酸化炭素中毒の恐れがあるのでエンジンをかけない。